

6 退院後6週間以内での緊急再入院率

指標の解説

- 患者の中には、退院後6週間以内に予定外の再入院をすることがある。
- その背景として、初回入院時の治療が不十分であったこと、回復が不完全な状態で患者に早期退院を強いたことなどが要因として考えられる。
- 緊急再入院率が低い場合には、入院期間中に十分な治療が行われたと評価できる。

分子：退院後6週間以内の救急入院(救急医療入院)患者数

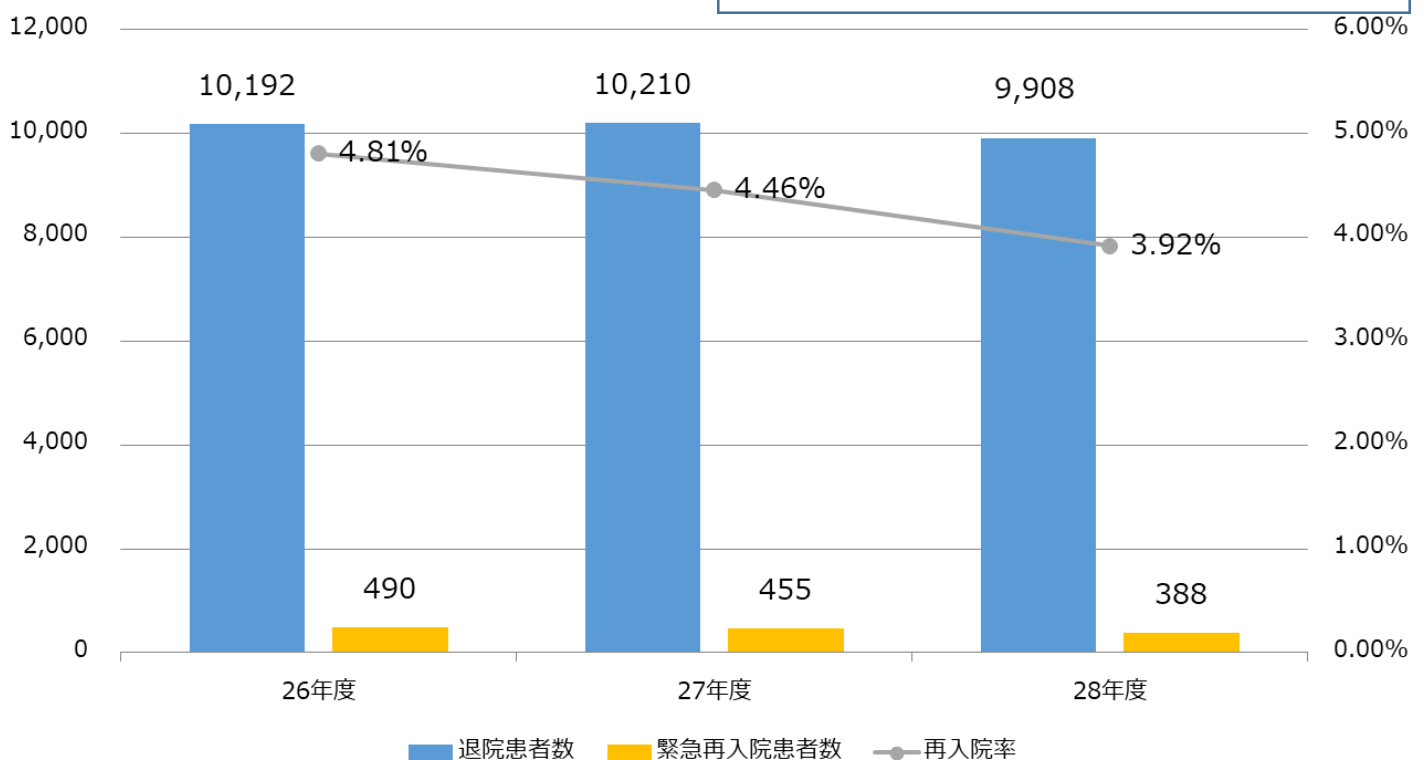
分母：退院患者数

参考値：2.58%

分子：退院後6週間以内の救急入院患者数

分母：退院患者数

(引用元：一般社団法人日本病院会作成「2015年度QIプロジェクト結果報告」、参加病院の平均値)



参考値よりは高いものの、緊急再入院率は徐々に下降している。前年度において再入院件数の多かった消化器疾患、循環器疾患、呼吸器疾患などの同件数が減少したことが一因と思われる。